



千葉労働運動

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話(鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043(222) 7207 番

92.10.26 No. 3680

再配転に積年の怒りをぶつけ 原職奪還へ21人がスト突入

10・28ストから乗替闘争へ

総決起集会 千葉市民会館に二八〇名決集

一〇・二三営業関係強制配転者による原職奪還ストライキは、二一名の組合員が敢然とストに突入し、「JR体制」による「塩づけ」攻撃粉砕へ向けた積年の怒りを爆発させるものとして圧倒的に勝ちとられた。

などのさらなる強制配転となっている。分科自体の運動強化に向けて、組織構成上の課題を信頼と団結の力を武器に、組織強化・原職復帰へ結びつきたい」との決意を全体化し、「強制配転粉砕・スト貫徹、一〇・二三動力千葉総決起集会」に全員が合流した。

「塩づけ」たらい回しに怒り沸騰!

当日一五時から開催された営業関係総決起集会には、スト対象者及び営業関係の組合員が大挙結集し、本日付けで出された売店廃止に伴う通勤距離さえ無視した再々配転―「塩づけ」攻撃のたらい回しに対する怒りの声が沸騰点にまで達した。

田中書記長闘いの方針を提起!

本部より、この間の交渉経緯、原職奪還への取り組みの経過を受け、渡辺営業分科会会長の「売店廃止」事前通知は直営店舗・特改

続々と千葉市民会館に結集した組合員二八〇名の怒りと熱気溢れた本集会は冒頭、本部中野委員長のおいさつ(要旨別掲)を受け、田中書記長による基調報告の中で、動力千葉の新たな闘いの指針として、①強制配転者の原職奪還の闘いを含めたあらゆる闘いの焦点②来年三〜四月の大決戦へ向けた体制の強化③解雇撤回闘争の更なる強化④冬季物

もう一度原点に返り、新たな闘いを創ろう! 委員長のおいさつ 要旨

本日の強制配転者のストは、組織の最大の課題である原職に戻す意思統一の闘いであり、「JR体制」打倒の闘いと結合して闘わなければならぬ。

そして今日のストは、次期ダイ改を大きな勝負所としての闘いの助走である。

「分割・民営化」から五年、試行錯誤の中からいろいろな問題が見えてきた。もう一度原点に返り、新たな闘いを創っていくことがわれわれに求められている使命である。

節目を迎えた出発点として、動力千葉の進べき道を確認していきたい!

「心はひとつ」運動 営業一体で闘おう

続いてスト決起者全員が登壇し、「原職奪還の日まで闘い抜く! 動力千葉の運動を浸透させる」との一人一人の決意表明は、満場の組合員の胸を強く打った。支部代表のあいさつでは、新たな強制配転攻撃を受けた総武支部・長田支部長の「再々配転攻撃でバラバラにされるが心はひとつだ!」との熱情のこもった決意こそ、「営業の怒りを運動が共有し、運転への攻撃を同一の攻撃として営業が一体化させる」動力千葉の真価なのだ!

一〇・二三ストの成果を、来年三〜四月闘争に結実させ、必ずや原職を奪還しよう!

第14回 団結運動会

とき 11月3日(火)
9時集合
ところ 千葉公園運動広場

家族揃って

参加しよう!

